

作成日：R3年5月25日

令和3年度第1回 高松圏域自立支援協議会 知的障害者支援部会議事録

日付	令和3年5月7日(金)
時間	10:00-11:30
開催会場	かがわ総合リハビリテーション福祉センター
参加機関等	香川県手をつなぐ育成会・香川県立香川中部養護学校・香川県立川部みどり園・高松市障がい福祉課・地域生活支援センターこだま・障害者相談支援センターゆづらん・高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点 順不同 計9名

以下、ワーキンググループはWGと表記。

議題1：今年度の活動について（部会全体）	
議事	<p>資料「R3 知的障害者支援部会活動案」をもとに各WGリーダーより今年度の活動案を説明し部会員で共有した。以下、参加者からの意見等。</p> <p>■親なきあとWGに関して</p> <ul style="list-style-type: none">・資料中の「緊急時に保護者に準備してほしいもの」は特に関心が高いのではないか。・利用している事業所でも緊急時に関する話題は多くなっている。自宅やアパートなどで親なきあとに生活する際に、日中の事業所にどこまで求められるものかも利用者の保護者間で話題になった。 <p>■地域移行WGに関して</p> <ul style="list-style-type: none">・特別支援学校高等部3年生の進路を検討するとき、障害児施設入所児童は生活の場も検討する必要に迫られるが、成人の入所施設はどこも空きがなく入所の相談は厳しい。・「移行」していくためにはたらきかけをどうしていくか検討するWGになるイメージか？—地域で生活するという選択肢を知ってもらうということも含めてそうだと思う。・入所を希望する声も多いなか、「移行」と「地域で暮らしていける状況」をセットで考えなければいけない。そんななかで、サービスは支給決定されているが提供側の人材不足などで実際には利用できていないという課題も考える必要がある。・自立度が低くても地域で暮らしていけるという情報を届けたい。
決定事項	—
今後の動き	—

議題 2 : 今年度の活動について (各 WG)	
議事	<p>資料に基づき来年度の活動の方向性案を検討</p> <p>■ 親なきあと WG</p> <p>①「親心の記録」以外にも、「安心ノート」「伝えるノート」等がある。すでに何かのノートを作っている保護者もいる。大変な思いで作成したが、その後、ノートの保管方法等で課題がある。</p> <p>→①はノート作成時の保護者の負担を軽減することが目的。各ノートに記入する情報と、相談支援専門員の使用する計画相談のアセスメントシートを比べて、重複する項目を整理する。</p> <p>②緊急時に保護者に準備してほしいものリストを作成した場合、「卒業生の会」や「親の会」を通して配布できる。数年前に卒業した方については、福祉就労を選択した場合は親同士の繋がりもあるが、一般就労した場合は連絡が途絶えることも多い。</p> <p>・子どもを一人残す、親の不安がある。特に、軽度で自宅で過ごしている方は、将来的に自宅で一人暮らしをすることもあり、その場合どういったサポートを受けられるのか。</p> <p>・「地域生活支援事業」のみの利用の場合は、計画相談担当の相談支援専門員はつかず、市役所とのやり取りのみで受給者証の更新が出来るなど、保護者が知らない情報がある。</p> <p>(次回の WG)</p> <p>・保護者が作成したノートと計画相談のアセスメントシートを持ち寄り、重複する項目などを整理する。</p> <p>■ 地域移行 WG</p> <p>・新しいメンバーをどのように募っていくか。指定一般の事業所および入所者を担当している相談支援専門員に声をかけていくのはどうか。</p> <p>・グループホームのサビ管との情報交換も有効なのではないか</p> <p>・入所が厳しい状況の中、「入所しなくても生活できる」という選択肢があっいい。それには不足している社会資源について考えていく必要がある。地域生活を送っている方の事例も参考にしたい。</p> <p>・触法のケースも入所以外の選択肢が必要である</p> <p>・最低限必要な資源と考えられる、住まい・金銭面・医療について検討が必要</p> <p>・改めて整理していく必要がある</p>
決定事項	<p>■ 親なきあと WG</p> <p>保護者が作成したノートと計画相談のアセスメントシートを持ち寄り、重複する項目などを整理する。6/16 - 18 の間のどこかで日程調整。</p>

	<p>■地域移行 WG</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6～8月「地域移行について」これまでの意見を集約し、整理する。 指定一般および入所者担当の相談支援専門員との情報交換 ・10～1月「地域生活について」不足している資源とは何か、整理する。 広く相談支援専門員に呼びかけ、好事例ケースの情報収集又は GH サービス管理責任者から情報収集を行う
今後の動き	両 WG ともに 6 月中旬に第 1 回目 WG を開催。日時と会場はメールで調整。

議題 3 : 各ワーキンググループの議論を共有	
議事	<ul style="list-style-type: none"> ・各 WG で話し合ったことの共有。 ・情報共有 <p>香川県自立支援協議会地域移行部会の今年度の方向性・意思決定支援 WG の取り組み・地域生活支援拠点検討部会の取り組み・高松市障がい者基幹相談支援センターの取り組みなどを情報提供し共有。今後も他の部会等の取り組みについて情報共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉サービスの利用率（支給量と実際の使用量）について、把握できないか。不足している資源を確認する方法の一つになるのではないか。→高松市にて可能な範囲を調べてみることに。
決定事項	—
今後の動き	部会としては 9 月に開催し両 WG の取り組みを共有する。

備考	
----	--

R3 知的障害者支援部会活動案

	親なきあと	地域移行
メンバー	<p>地域生活支援センターこだま・香川中部養護学校・香川県手をつなぐ育成会・高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点</p>	<p>障害者相談支援センターりゅうらん・川部みどり園・高松市障がい福祉課・高松市障がい者基幹相談支援センター中核拠点</p>
内容	<p>(目的) 知的障害者の支援に関して、保護者と担当相談支援専門員が緊急時に備えて協力して準備できることを整理し、関係機関との情報共有、協力を促す。</p> <p>(内容) ①保護者が「親心の記録」等の親なきあとに備えたワークブックを記入するにあたり、担当相談支援専門員が提供できる情報を整理し、保護者へ協力できる機会をつくる。 ②基幹地域拠点、地域拠点検討部会の動きを共有し、緊急時に保護者に準備してほしいもの等を整理し、保護者に向けた周知の素材をつくる等して周知を行う。 ③金銭管理の支援（日常生活自立支援事業の活用等）について継続協議する。</p> <p>(スケジュール) 5月部会 部会全体共有 6～8月 ワーキングを2回程度実施し、親なきあとに備えたワークブックの使用状況の共有・相談支援専門員が提供できる情報の整理等を行ったうえで、周知の場をもつ。 9月部会 部会全体共有 10～1月 ワーキングを2回程度実施し、緊急時に保護者に何を準備してほしいか整理し、保護者に向けた周知の素材をつくり周知する。 2月部会 部会全体共有</p>	<p>(目的) 知的障害者の地域移行に関して、現状やこれまでの取り組みを整理して共有し、新しいメンバーを募り広く考えることができる体制をつくる。</p> <p>(内容) ①知的障害者の地域移行に関して、現状やこれまでの取り組みを整理する。 ②一般相談支援事業所と入所している知的障害者の担当相談支援専門員との情報交換の場をもち、新しいメンバーを募る。 ③県自立支援協議会地域移行部会で協議される課題について、随時協議する。</p> <p>(スケジュール) 5月部会 部会全体共有 6～8月 ワーキングを2回程度実施し、これまでの情報を整理したうえで、一般相談支援事業所と入所している知的障害者の担当相談支援専門員と情報交換の場をもちつ。 9月部会 部会全体共有 10～1月 ワーキングを2回程度実施し、新しいメンバーと取り組みを協議する。 2月部会 部会全体共有</p>

R3 知的障害者支援部会活動案

他取り組み との情報共有等	基幹地域拠点、地域生活支援検討部会 意思決定支援ワーキング	香川県自立支援協議会地域移行部会 意思決定支援ワーキング 香川県知的障害者福祉協会相談支援部会
------------------	----------------------------------	---